



FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第 90号 (2014)
<http://www.h7.dion.ne.jp/~saitama/>

Winnipeg, CanadaとLong Island, USへの渡航

2014年9月3日～9月16日 ED 西村介延



9月3日から9日までの一週間はカナダのウィニペグ、そしてニューヨークにて一泊した後、ロングアイランドにて10日から16日まで交換渡航をおこなった。静かな湖や自然がいっぱいのカナダ・ウィニペグと、まさに世界経済の中心地のニューヨークと対照的な2つの都市を訪問できた。

まずカナダでは、街から空港が近いこともあるが、ホスト・ファミリーに空港まで出迎えていただいた。カナダでは夏が短く、ウィニペグ・クラブのメンバーのほとんどの人は、夏季のロッジを持っており、7月、8月と夏の休暇をそこで過ごす。今回もわれわれは、それぞれホストのロッジに招待されたが、ロッジからカヌーで湖に漕ぎ出したり、森の中をトレッキングしたり、湖畔でポットラック・パーティーを開いたり、静かで緑豊かな自然のなかで、リラックスした時間を過ごした。

2番目の訪問地であるロング・アイランドは、ニューヨークから電車で1時間半の距離にあり、ちょうど大宮・浦和と東京との距離感であり、やはりニューヨークまで通勤している人が多いとの点でも似ている。ただ、ロングアイランドでの環境や住宅は、緑が多く家々にも広いリビングやキッチンがあり、また、木々の茂ったバックヤードがあるなど、素晴らしい街並みが続いている。マンハッタンには2回案内してもらい、またブロードウェイでは、“Chicago”を観ることができ、忙しかったが、楽しい交換ができた。



ウィニペグとロングアイランドの初めての渡航

浜田聖子



緊張と、期待でいっぱいの成田を出発して。ウィニペグに到着したとき、迎えに来てくれた、ドリーの笑顔がうれしかったです。

その後の滞在もとても気を使ってくれて、気持ちよく過ごせました。盛りだくさんのスケジュールをこなしているうちに、ドリーの分かりやすい英語で、彼女の仕事、子ども達、お母さんのこと、亡くなったご主人のことなど、たくさん話をしました。

湖のコテージで、ドリー、加代さん、和子さん、ノーマと私で、過ごしたことは、忘れられません。霧の中の夕べの月の幻想的な美しさ、本当に、素敵でした。

ロングアイランドでも、リチャードと、クラウディアが、快適な部屋にはいつも水と、いつでも食べられるようにと、スナックをかわいらしいバケツに入れておいてくれました。

私たちの希望で、何回もニューヨークに、足を運んでくれて、ブロードウェイや、ビルの上のガーデンを散歩して、いろいろな草花を見たり、ニューヨークスタイルの、パブで食事をとったり、どんな、瞬間も、カラフルな思い出で、いっぱいです。今回の、渡航を終えて今思うことは、今度は、このような温かいおもてなしを、アンバサダーにしてあげたいということです。これからも、素晴らしい出会いにワクワクします。

ウィニペグとロングアイランド渡航に参加して

富岡 正男



ウィニペグ空港に出迎えてくれたホストの笑顔は写真でみたあの笑顔だった。案内された家は自力で建てたそうで、自分達で家を造るのは当たり前ふうであった。スコットランド系のジョーとウクライナの祖先をもつヴァルは共に遅く、料理もうまく湖畔の別荘でカヌーの漕ぎ方を教えてくれた。朝カヌーを漕いでやってきたジョーの友人がコーヒーを飲んでいつものふうにかヌーを漕いで帰った。

ロングアイランドは広大な屋敷が列をなしていた。テッドの家は築200年の趣のある古家だった。

ロシア系移民の夫婦で美術愛好家で浴室の静物画、壁面のアラビア風景画などの自作品もすばらしい。

塗装作業はDIYで塗料の空き缶が納屋にごろごろしていた。

最後のステイはエリーの家。これ又2エーカーの庭にプールがあり、主はユダヤ人。「若い時は労働の明け暮れだったよ」と静かに語った。

今回のステイは移民達の積年の努力とタフネスに思い至る旅であった。

はじめてのNY

江田雅彦



私の2週目のホストBrian は53歳のシングルで、移民の中高生に第2言語としての英語を教える教師をしています。彼は平日働いていてFFのイベントに参加できないので、土日以外は毎日他のメンバーがいろんな所へ案内してくれました。



その代わり毎日彼と夜半過ぎまでいろんな話を楽しむ事が出来ました。

歴史・民族・教育・仕事・給与・税金・年金など～彼との多くの会話の中で驚いた事があります。

彼の母親は私と同じ82歳ですが、ユダヤ系のオランダ人で、悪名高いナチスのホロコーストの被害者です。運よく生き延びて戦後移民として渡米し、暫くして市民権を得ました。

想像を絶する体験談を聞くと、私の戦中戦後の苦労なんかなんでもないように思われます。彼がプリントアウトしてくれた家族史(写真付き)を何度も読み返しています。

彼の友人がウェイターとして勤務するメキシコ料理店でThanks dinnerをした際、レシートに10%のディスカウントがされていたので、その分チップに上乗せして支払いました。

今回の渡航では、憧れのNYでいろんな所を案内していただき、長年の夢が叶いました。

自由の女神・摩天楼群・セントラルパーク・5番街・WIC跡地・ミュージカル(シカゴ)など～私にこの様な素晴らしい機会を与えてくれたEDその他世話役の皆様に対して、感謝の念で一杯です。



メルボルンクラブの友人8名が埼玉クラブへ

羽島継男



昨年3月、当クラブがお世話になったオーストラリアメルボルンクラブの仲間8人が9月29日に来日され、久しぶりの再会に楽しい4日を過ごされました。

今回の一行は、メルボルンクラブが東京クラブ及び三重クラブとの交換のために来日されたのですが、この交換に先立ち埼玉クラブを訪ねてくれたものです。

一行は、五十嵐、加藤、高堂、西村、日置、羽島の各お家にステイされて、日光へのエクスカージョン、着付けパーティー、木曾路での歓迎会、盆栽美術館、氷川神社、カラオケ体験、見沼たんぼの散策、上野周辺の散策などの歓迎行事で大層お慶びの様子でした。まさにFF活動の楽しみここにありを実感する4日間でした。

留学生を受入れて

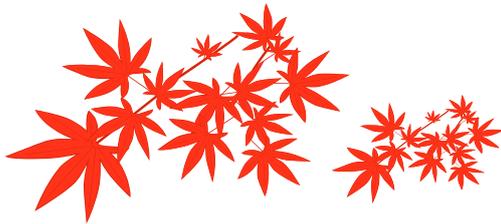
石井 友美

毎年、埼玉大学では日本語を学んでいるオーストラリアの学生さんを受け入れるプロジェクトを実施しています。

今年は、羽島さんの所に60才の方、堀切さんの所に19才の男子学生さん、私の所には20才の女子学生さんが一週間ホームステイして日本の家庭を体験しました。彼女の滞在中、ちょうど上尾祭りがあり、浴衣姿で街に繰り出しました。

二人で歩いていると向こうから来た二人のご婦人から、何を勘違いしたか「おばあちゃんに着せてもらったの。やっぱり違うわね。」と言われてしまいました。

嬉しいやら悲しいやら、、、今となっては楽しい思い出です。



バーベQパーティに参加して

村松 江伊子

都心ウォーキングとランチの会

高堂 綾



4月にFFSに入会させていただいて初めてのイベント参加でしたが、原田会長様の温かなご配慮でお願いいただき、思い切ってご一緒させて頂きました。

当日はあいにくの雨でしたが、森林公園駅に集合し、お迎えのマイクロバスでいざ、バーベQ会場へ！

室内では5~6人ずつのテーブルに分かれ、お肉やお野菜をジュージューと焼きながら、和気あいあいとお話が弾み、あっという間に時間が経ってしまいました。帰りは雨も上がったので、駅まで有志で遊歩道をおしゃべりをしながら歩きましたが、雨上がりの木々はフレッシュで緑が目にしみ、ちょっとした森林浴気分でした。

このパーティを機に、新入会員の私は、FFSのそれぞれに才能あふれるチャーミングな皆様方とお近づきになれたような気がいたしました。(今後ともどうぞよろしく願いいたします。)

参加させていただいて、本当によかった～♪

2014年11月1日(土)、曇り空の中参加者19名と共に四谷を出発して新宿通りから内堀通りとゆっくり歩き、途中消防博物館に寄り江戸の火消の様子を学んで江戸の町並みを思い浮かべながら歩くのは、味わい深いものがありました。

幸いにして最終地点日比谷ちかくで雨が降りだし急いでレストラン“ウスケボー”へ直行、美味しい昼食を前にして皆様の嬉しそうな笑顔の記念写真です。



日本大会in札幌

原田 史



第26回FF日本大会は北海道観光に最適の6月29日(日)・30日(月)に札幌のホテルで行われました。通常行われる土曜日・会議と日曜日・オプションツアーではなく、会議は日曜日、旭山動物園や小樽などへのバス旅は月曜日という珍しいスケジュールです。

Joy会長は去年の鳥取大会に続いて2度目の来日で、代表者会議でも全体会議でも熱弁をふるわれて、日本に期待をかけておられるのではないかと思います。午前中の代表者会議は工夫があって、希望する参加者は後方に座って代表の話し合いを聞くことができるようになっていました。とてもいいやり方だと感心しました。午後はアイヌ文化紹介で始まり、お話し、演奏、演舞があって、札幌クラブ主催らしい取り組みでした。全体会では代表者会の報告、金元さんのFFI報告などがあって、休憩時には事前に呼び掛けられて持参した各県の地元のお菓子を賞味しながらの歓談が目新しく、なごやかで良い試みでした。その後のグループ討論も200人が16卓に分かれさせられ、「強く印象に残った交換」などのテーマで意見交換し、色々なクラブ、様々な交換があるということに改めて気づく機会となり、本当に有意義な1時間でした。

懇親会は最後のよさこいソーラン踊りで盛り上がり、岐阜大会の宣伝が締めでした。

2014年関東ブロック会議に参加して

稲垣 洋子



日時:2014年7月6日(日) 午後2:20～5:00修了後 6～8時 懇親会
会場:エクシブ山中湖
主催:Mt.富士山梨クラブ 参加者数30名

今年の関東ブロック会議は、設立後の歴史も浅いMt.富士山梨クラブ主催で初めて行われました。庄司会長のFFへの意気込み、クラブの若いリーダーの人たち・・・さわやかな新風が吹き込まれた感がありました。関東ブロックFRの沼さんの司会で繰り広げられた様々な報告、意見交換は、内容の深い興味あるものでした。

例えば、ペルー13名を受け入れの際、ビザ取得に日本側ホストの住民票が必要(東京ク)、ロシア受け入れでは、ほとんどの人が英語を話さないで、意思の疎通が困難。ビザ手続きも煩雑。(西東京ク) 会員獲得にはお母さんパワーが大きかった。1週間受け入れは現時点では長すぎる。(Mt.富士山梨ク)

そして今後の課題でもあるクラブの活性化、発展のために若い世代をいかに取り込んでいくか。会員1人1人が考えなければいけない問題ばかりでした。



クラブからのお知らせ



1. FFIフィー改訂のお知らせ

FFI本部の値上げ（ファミリー会員 17^{ドル}⇒25^{ドル}・シングル会員 10^{ドル}⇒15^{ドル}）及び円安の影響により来年度FFIフィーは下記のようになり、会費5000円と共に徴収させていただきます。
ファミリー会員 3000円 シングル会員 1800円

2. 新会員のご紹介

秋元清美様が入会されました。

英語をもっと勉強してスムーズに会話ができるように、楽しみながら成長していきたいです。
皆様よろしくお願ひいたします。

3. クラブの今後の活動

2014年12月21日	(日)	10:00	理事会	シーノ9F 学習室1
2014年12月21日	(日)	13:00	カナダ・トロント第1回交換委員会	桜木公民館 調理実習室
2015年1月18日	(日)	10:00	理事会	シーノ7F 講座室1
2015年1月25日	(日)	13:00	総会及び懇親会 浦和コミセン	第13集会室
2015年2月8日	(日)	10:00	理事会	シーノ9F 学習室1
2015年2月8日	(日)	13:00	第2回トロント交換委員	シーノ9F 学習室1
2015年2月8日	(日)	15:30	ベルゲン渡航委員会	シーノ9F 学習室1

4. 受入・渡航予定 (2014年度)

受入:カナダトロントクラブ 2015年4月3日(金)～10日までの7泊8日(金)

渡航:ノルウェー・ベルゲンクラブ 6月4日(木)～6月11日(木)

スイス・ソロトゥルンクラブ 6月11日(木)～6月14日(土)

編集・発行
ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局
〒337-0052さいたま市見沼区堀崎町295-7
TEL:048-684-9733 FAX:048-684-9733
発行日:2014年12月